

## 特別活動 授業デザイン

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 日    | 時：平成25年2月15日（金）第3校時（10時40分～11時25分） |
| 学    | 年：本校小学部2～6年                        |
| 授業場所 | ：4～5年教室                            |

### 1. 題材名

携帯電話との正しい付き合い方

### 2. 単元（題材）の目標

- (1) 携帯電話を使う事のメリット・デメリットを理解する。
- (2) 文字だけでコミュニケーションする際に注意すべき事を考え、実践しようとする。
- (3) 携帯電話を使うことで起こるトラブルとその対処法を知り、適切に行おうとする。

### 3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全3時間）

| 時   | 主な学習活動・内容  | 主な使用機器               |
|-----|--|----------------------|
| 第1時 | 直接話す場合とメールの場合との違いを考え、文字だけのコミュニケーションの際に気をつけることを考える。   | IWB, TPC,<br>リモートカメラ |
| 第2時 | 携帯電話に関して様々なトラブルがあることを知り、適切に対処する方法を考える。（本時2／3）        | IWB, TPC,<br>リモートカメラ |
| 第3時 | インターネット上で一度公開されてしまった情報は簡単に消せないことを知り、個人情報保護の大切さを理解する。 | IWB, TPC,<br>リモートカメラ |

### 4. 本時の目標

- (1) 携帯電話のメールに関する様々なトラブルとその対処法を理解する。
- (2) 友人を通してトラブルに巻き込まれた際に、適切に対処できる。

### 5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

|           |   |
|-----------|---|
| 活用する場面    | ・導入 ・展開 ・まとめ                                  |
| 活用する者〔目的〕 | ・児童・生徒〔・個別学習 ・協働学習 〕<br>・指導者〔・コンテンツ提示, 資料提示 〕 |
| 活用するコンテンツ | ・自作コンテンツ 学習支援システム                             |
| 活用する機器    | ・IWB ・TPC ・リモートカメラ ・マイク ・スピーカー                |

## 6. 本時の展開

|             | 学 習 活 動  | 活用機器<br>(活用者)         | 指導上の留意点・支援内容<br>【ICTによる支援】  |
|-------------|--|-----------------------|---|
| 導<br>入      | <p><b>協働学習→一斉学習</b></p> <p>①携帯電話で、よくトラブルになる事柄を知る。</p> <p>②本時は携帯電話のメールで起こるトラブルについて学習することを確認する。</p>  | IWB (指導者)<br>TPC (児童) | 【リモートカメラや協働学習システムを使い、別教室で学習している児童も活動に参加できるようにする。】   |
| 展<br>開      | <p><b>個別学習→協働学習→一斉学習</b></p> <p>③学習支援システムを使って送信された迷惑メールを見て、どう対処するかアンケートに答え、意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切なサイトへ誘導するメール</li> <li>・チェーンメール</li> </ul> <p>④迷惑メールの特徴と、適切な対応を確認する。</p> | IWB (指導者)<br>TPC (児童) | <p>【学習支援システムの仮想携帯電話を使うことで、携帯電話の実感を得られるようにする。】</p> <p>【学習支援システムを使い、パソコン上でアンケートの配布と集計を行う。】</p>  |
|             | <p><b>個別学習→協働学習</b></p> <p>⑤友人から迷惑メールが来た場合を考え、2人1組で、そのメールへの返信をお互いに行う。</p> <p>⑥全員のメールを交流し、どのような点が良いか話し合う。</p>   | IWB (指導者)<br>TPC (児童) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を想起させ、文字だけのコミュニケーションの際に気をつけることを確認する。</li> </ul> <p>【学習支援システムの仮想携帯電話を使うことで、メールのやりとりの実感を得られるようにする。】</p> |
| ま<br>と<br>め | <p><b>個別学習→協働学習</b></p> <p>⑦本時の要点を再確認し、授業のふりかえりをする。</p>  | IWB (指導者)<br>TPC (生徒) |   |

## 7. 本時の評価 (評価の観点・観点別の評価を含む)

- (1) 携帯メールでおこるトラブルとその対処法を理解しているか。
- (2) 言葉だけのやりとりであることに留意して、返信メールを作成しているか。

## 8. 準備物

IWB, TPC, リモートカメラ, マイク, スピーカー, デジタル資料 (自作コンテンツ), ワークシート